

平成 30 年 9 月 7 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録(9 月期)**

【出席者】(敬称略)

濱田、石丸、一政、岡部、片桐、木村、佐藤、高木、葉木、若笠、

事務局：天寺、濱口

沢野推進委員会委員長、オブザーバー：森村

1. 濱田代表理事 挨拶
2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告
巻末添付_「事業報告と今後の予定」のとおり。
西日本豪雨 事務局視察・活動報告
巻末添付_「平成 30 年 7 月豪雨 現地報告 岡山県倉敷市、総社市」及び「西日本豪雨災害被災地支援活動 広島県呉市」を参照
3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク報告
巻末添付_「運営委員会議事」を参照
 - 8/30 付で募集した寄付金は 624,000 円が集まった(112 件)。今回 SL 以外に外部からの寄付があった。税額控除を目指すには 5 年間平均で 100 件が要件。寄付金の半額は災害対応積立金と、SL 活動金として公開シンポジウムの費用等に充てる。
 - 10/15,16 の 2 日間で新宿区の京王プラザにて行われる「災害時の住環境・生活環境/アレルギー-EXPO」に正式に出展することが決まる。現在簡易レシピの作成に加え、今後の地域活動でも展示ができるようタペストリー(壁掛)も作成中(担当：石丸、木村、三澤、義元、平田)。
 - 9/19SL 防災談話室「災害時のトイレ事情と対策」富士見区民館 18:00～開催(担当：岡部)
 - 「災害時のトイレどうする」講演会&シンポジウム企画について進捗報告
11/20 13:30～16:30 カナリアホール(北とぴあ 14 階)にて開催。
 - SL 企画セミナー第 4 弾は「初心者のための DIG セミナー」を 12 月上旬に予定。来年 1 月 9,16,21,23 日の 4 日間で「5 年経験者 DIG 研修」の受託事業に合わせて実施予定。
 - スフィア基準「被災者支援のための国際基準を学ぶ研修会」は来年 1 月下旬から 2 月上旬平日の 3 日間で開催予定。現在 JFAS の岡野谷代表と日程調整中。
4. 各地域の活動報告
 - 千葉県ネット(木村)
 - 8/26 10:00～第 39 回九都県市合同防災訓練 in 勝浦実施(参加：坂内、沼野、柴田、山形、杉崎、木村、天寺)
 - 9/18 13:30～Q ボール 千葉県ネット役員会
 - 船橋ネット(片桐)
 - 8/25 12:00～外国人避難所宿泊訓練(報道：NHK 関東版 片桐 SL 出演)
 - 8/26 9:00～船橋市総合防災要配慮者訓練実施。
 - 流山・野田ネット(岡部)
 - 8/26 9:30～流山市総合防災訓練実施。

- 10/26 13:00～流山社協「災害ボランティアリーダー養成講座」内、クロスロードゲームを担当。
- 10/27 9:30～平和台2・3丁目自治会講演会「平成30年豪雨を踏まえた当地区の防災対策」岡部SL講談

埼玉ネット(若笠)

- 7/14 吉川市市民センターブース展示支援
- 8/3 日本工業大学救急講習支援
- 8/11～12 野外訓練キャンプ(八潮フラワーパーク内)
- 9/30 朝霞市防災フェア出展

横浜ネット(一政)

- 8/24 富士見台小キッズ防災教室へ約100名の参加。例年30名ほど
- 9/2 横浜市総合防災訓練実施。ガラス飛散防止ブース出展。市長も注目。訓練内でシェイクアウト初実施。(参加：一政、畑、松原、田中(喜)、大垣、長嶋、沖津)
- 10/7 保土ヶ谷宿場まつり(雨合羽、スリッパ)
- 10/8 ハマのサンマまつり(鯛焼き)

川崎ネット(佐藤)

- 7/23 10:00～高津区社協「2018 チャレボラ・子供防災教室」実施。子供24人、付添8人参加。「震度6強シミュレーションクイズ」実施(植田、佐藤)。好評の為来年も実施予定。
- 8/7 「SL防災ボランティアネットワークかわさき」設立会実施。代表佐藤SL、会計植田SL選出。
- 8/25 中原区社協「中は楽ボランティア連絡協議会・夏祭り」内で「減災のすすめ」で講師佐藤SL、ファシリテータ植田SLとして参加。わかりやすく好評で再講義の話も出ている。

湘南ネット(葉木)

- 9/5「パッククッキングを使った」災害食試食会実施。

ざまネット(濱田)

- 7/13,14 津久井高校 炊出し実施
- 7/26 座間養護学校訓練実施。
- 8/4,5,12 ざま講座終了。11名SL認定。
- 西日本豪雨被災地支援 タオル1万枚集まる。タオルと同時に送料協力金として21万円、他寄付で5万円計26万円が集まった。箱詰めし、小学生メッセージカード同封。国土館大のバス、トラック、文京区消防団が現地へタオルを運搬してくれた。
- 9/21 から座間ネットが倉敷へ入りタオルの寄付と鯛焼きを振舞う。

【次回の開催日】

2018年10月5日(金)13時30分～運営委員会

開催予定場所：かがやきプラザ

2018年7,8月の事業報告と今後の予定(7.7 9.6)
(9月7日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

めったに起きない災害がたびたび起きる時代へ

西日本豪雨、台風21号、北海道胆振(いぶり)東部地震

事務所に「マイ発電プロジェクト」の太陽光発電器設置 9/4

暑かったではすまされない今年の夏、熱波は「大災害」、オリンピック視野に
JBU パワーバンクの被災地支援活動の進化、発展

好意的に取り上げられた高齢者の災害ボランティア活動

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・ 7/10 オウム 7人死刑執行 7/26 6人死刑執行 13人全員死刑に
- ・ 7/26 文部科学省高官汚職 国際統括官逮捕 (JAXA 出向時)

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震 (気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日時	震央	M	深さ	最大	地域
7/07 20:23	千葉県東方沖	6.0	66 km	5弱	長南町
7/17 04:34	茨城県沖	4.8	52 km	4	水戸市他
9/6 03:08	北海道胆振東部	6.7	37 km	7	厚真町

苫東厚真火力発電所被災で北海道全土大停電

厚真(あつま)町土砂崩れ

人的被害、死者16人、安否不明26人 9/7 朝

イ 風水害 (土砂含む)(内閣府掲載を主に対象)

「平成30年7月豪雨」西日本豪雨 7/6の16時委員長発言

死者221人、不明9人 8/21 現在 特別警報 1府10県

岡山県 倉敷市 死者52人 小田川決壊

総社市 死者2人 7/6 23:30 総社市アルミ工場爆発

広島県 呉市 死者24人 広島市21人

愛媛県 宇和島市 死者11人 西予市5人

逆走台風12号 7/29 伊豆半島接近、三重県、九州へ

「平成30年台風第13号」8/9 関東に接近

8/22 台風観測史上最多ペースで発生

「平成30年台風第20号」8/23 徳島県南部、8/24 姫路市(再)上陸

関東地方雷雨、世田谷付近1時間に110ミリ 8/27

「平成30年台風21号」9/4 徳島県南部、神戸市(再)上陸

死者11人 9/5 現在、瞬間風速 大阪府関空島 58.1m/s(南南西)

(高潮)関西空港浸水被害

(停電)大阪府 112万5千戸

ウ 熱波災害

観測史上最大の熱波? 推定死者は2千人以上で過去最大? 判明は4か月後

8/28 岐阜市藤掛第1病院 5人連続死亡、殺人容疑で捜索

実態として夜9時以後、冷房を切る施設が多数存在する

エ 火山等 8/15 口永良部島 噴火警戒レベル4へ引き上げ 8/29 3へ引き下げ
 海外 ア 地震(USGC 発表、日付 UTC、Mw7 以上又は報道等で犠牲者多数)

8月には環太平洋地域で地震が多発し、次は日本との観測が流れた

日 時	UTC	発生地	M	深さ	死者
8/5		インドネシア・ロンボク島	6.9	31 km	460人以上
8/19		フィジー	8.2	600 km深発	なし
8/21		ベネズエラ	7.3	154 km	なし
8/24		ペルー	7.1	609 km 深発	なし
8/29		ニューカドニア	7.1	26 km	なし

イ 風水害

7/25 WMO (世界気象機関) 異常気象は世界規模

8/10 洪水 インド・ケララ州 死者 361 人 1924 年以来最悪

ウ 火山等 8/25 パプアニューギニア・マナム島 噴火

エ 大事故等

7/24 ラオスアタプー県建設中ダムが決壊 死者 34 人、不明 97 人

8/14 イタリア北部ジェノバ 高架高速道路崩落 死者 39 人

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府][消防庁][文部省]

[気象庁]

・7/23 7月中旬以降の記録的高温と今後の見通しについて

イ 自治体

ウ 東日本大震災

・8/31 復興庁 避難・転居者数 5万 7917 人 前月比 - 1,656 人 8/13 現在

エ 防災訓練等 九都県市合同防災訓練

・[報道] 8/29 NHK 外国人のための避難訓練 船橋市 片桐 S L

・各地からの報告

1-4 災害ボランティア等の動き

ア 被災地支援状況

・JBU パワーバンクによる継続支援 倉敷と呉市

・地域基盤支援、具体例：座間市

・生活再建支援連携体（防災科研他）

イ その他

・8/15 尾畠春夫（78）ボランティア 行方不明の2歳児を発見

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK]

・7/12 緊急検証 西日本豪雨 「異常気象新時代」命を守るために

・9/1 MEGAQUAKE 南海トラフ巨大地震 迫りくる“Xデー”に備える

イ 書籍

・日本財団は、いったい何をしているのか(第4巻)災害に立ち向かう群像

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 社会貢献活動：災害ボランティア

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 10,269 人 公認講座 2,500 人弱* 計 12,769 人

イ 本部主催の S L 養成講座事業

8 月 座間市連携講座、一橋大学、東京大学講座

9 月 船橋市講座 9-28-29-30

11 月 我孫子市講座 11-17-23-24

ウ 大学等受託の災害ボランティア養成事業

8 月 中央大学 9 月 目白大学 10 月 専修大学

エ JBU パワーバンク養成事業 11 月 基礎講座を計画

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

ウ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク/災害ボランティア活動報告

ア [事務] 寄付金状況

イ 行事等

・[予定] 11/20 災害時のトイレシンポ 北とぴあ

・[予定] 10/15-16 住環境 EXPO 出展 アレルギー

2-2 総合防災事業

A、防災訓練事業(シェイクアウト事業)

ア 到達点 2018 国内累計約 343 万人

イ [実施] 8/31 北海道 16 万 5 千人

ウ [予定] 11/1 緊急地震速報シェイクアウト

B、防災教育推進事業

ア チャレンジプラン・内閣府共催事業

・[募集]2019 年度募集開始

・[予定]10/27-28 防災教育交流フォーラム/中間報告会

イ 防災教育普及協会事業

・[報告]8/29 朝日新聞夕刊 1 面トップ掲載

・[予定]10/14 防災こくたいセッション

・[予定]11/29 特別セミナー 仙台防災枠組 + 企業防災

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

・[各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

・首都圏レジリエンスプロジェクト for R

・生活再建支援事業

3、広報等

A、広報 S L レター 8 月下旬発行

以上

平成 30 年 7 月豪雨 現地報告 岡山県倉敷市、総社市

概要

1>視察日時

2018 年 7 月 20 日(金)～21 日(土)

2>視察地域

岡山県倉敷市(真備地区)、岡山県総社市

3>視察目的

現地での安全衛生の啓発(ポスター貼付)、現地情報収集、JBU 団体活動組立 等

4>視察者

災害救援ボランティア推進委員会 天寺、濱口

7 月 20 日(金) 現地天気：晴れ

1>6:50～東京駅

2>10:20～姫路市(オリックスレンタカー)

3>12:40～倉敷市災害ボランティアセンター

地元市議会議員と合流、挨拶。安全衛生ポスター啓発

4>13:45～倉敷市総合運動場体育館

三村氏の車に同乗し始めに物資保管場である倉敷市総合運動場体育館(以下、倉敷市体育館)へ向かった。

5>14:15～菌小学校(視察)

倉敷市体育館から北東へ車で 5 分ほどの場所に位置している真備地区の小学校。

6>14:40～岡田小学校(視察)

菌小学校から東へ車で 10 分程にある岡田小学校。

7>14:50～倉敷市真備支所(サテライトやた)(視察)

現地社協とのつながりをもつ。

8>15:20～真備美しい森(ボランティア臨時キャンプ場)(視察)

9>15:55～倉敷市災害ボランティアセンター

JBU、地元社協との繋がり。翌日からの活動が固まる。安全衛生ポスター配布活動スタート地点である真備町ライオンズクラブ事務所視察。17:30 終了。

7月21日(土) 現地天気：晴れ

1>7:30～倉敷市災害ボランティアセンター

岡山市のホテルを出発し、JBU パワーバンクのバスに後続し倉敷市災害ボランティアセンターへ向かう。

2>10:00～ライオンズクラブ真備

JBU とライオンズクラブにてマッチングを行った。川辺地区の作業が確定し、ライオンズクラブで飲料以外の水を補給し、現場へ向けて出発。

3>10:30～川辺地区作業開始

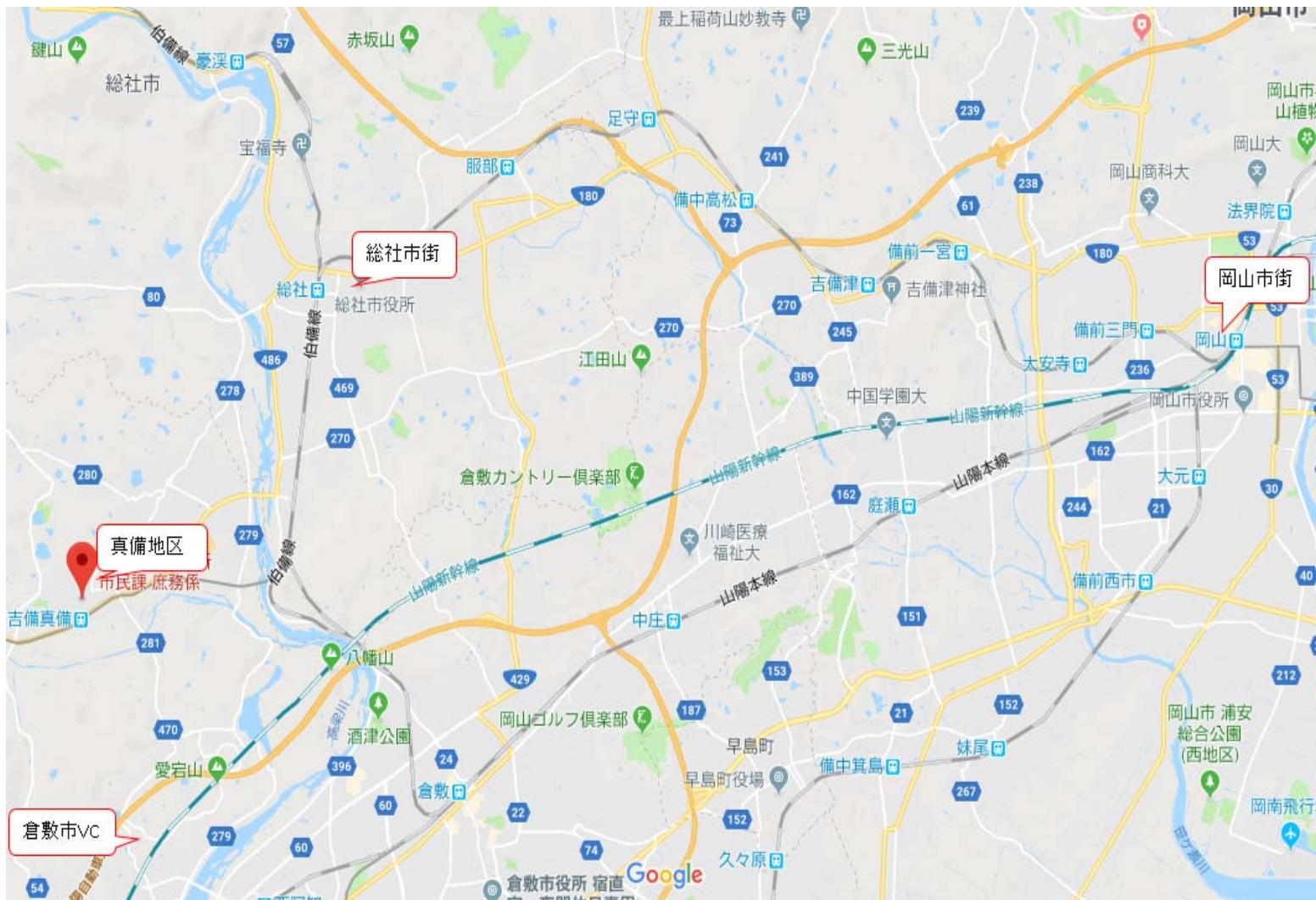
民家の泥かき、家財搬出

4>11:00～総社市社会福祉協議会(視察)

1 回目の休憩時に JBU と分かれ、総社市へ向けて出発。11:40 頃到着。状況視察。

5>12:00～岡山市内

休憩を取り、レンタカーを返却。新幹線へ。 18:33 東京駅着



倉敷市災害 VC



真備地区様子



避難所(園小学校)



JBU パワーバンク活動様子(真備町川辺地区)



西日本豪雨災害 被災地支援活動 広島県呉市 天寺報告

- 期間：8月31日（金）～9月2日（日）
- 支援場所：広島県呉市・
- 事前目的：予定では、JBU パワーバンク（基幹労連）と活動。
- 実際の活動：雨天のため、JBU パワーバンクとは行動せず、単独で、坂町小屋浦サテライト（私設 VC）で活動。
- 行程
 - 8月31日 流山市での研修終了後、羽田→広島空港→呉市内ホテル着（23：30）
 - 9月1日 雨天
 - 8：00 呉ステーションホテルにて JBU 担当者との会合、予定を共有。
 - 8：30 広島プラダチーム炭本さんと合流し車にて坂町へ向かう。雨脚が強くなる。
 - 9：30 小屋浦サテライト到着 サテライト責任者・佐渡さん（天地川公園）
小屋浦2丁目のお宅にて土砂搬送。家の周りの排水環境を整える。昼食後14時まで活動。
 - 14:00 活動終了後、小屋浦地区全体を視察。砂防ダムが崩れたところ・小屋浦3丁目まだ手付かずの場所
などを見て回る
 - 15:00 天応地区、川尻地区、安浦地区へ向かい被災地視察。被害は小屋浦に比べるとより局所的な印象。
 - また、安浦地区はほぼきれいに片付いていた。
 - 16:30 安浦地区から呉へもどる
 - 9月2日（日）晴天
 - 7：45 JBU メンバーは音頭地区にて活動。出発を見送る。
 - 10：00 空港リムジンバスで広島空港へ→東京へ帰途

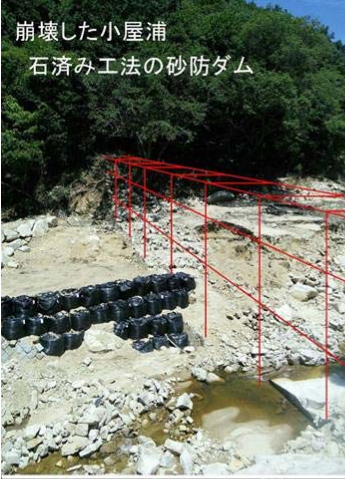


坂町・小屋浦地区



報恩（恩返しの意味）

ときは明治40年（1907年）の夏七月連日の悪天候がついに15日の明け方今までかつてなかった大雨のため谷の水はあふれ土砂が荒れ狂うように流れた。このため一瞬にして家屋の43戸はつぶれ命を失った人44人小屋浦地区の悲惨な状況は言い表すことができないさまで手をこまねいてなげのみであった。（以下略）



公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
9月7日運営委員会(13:30～16:00) 議事

1. 濱田代表挨拶
2. 災害救援ボランティア推進委員会防災事業報告 沢野委員長
3. 報告・議案など
 - 3.1. 報告事項
 - 寄付金状況
 - 8/30 時点で総額 624,000 円 (計 112 件)
 - 税額控除を目指すためには、5 年間平均して 100 件が要件 (理事は件数に含まれない)
 - 災害時の住環境・生活環境/アレルギー-EXPO2018 の出展について
 - 期間：10 月 15 日 (月) 16 日 (火)
 - 会場：京王プラザホテル
 - 出展料：3 万円
 - 展示物：防災談話室メンバーの平田 SL、義元 SL、三澤 SL、木村・石丸運営委員とでパネルの作成、簡易レシピ冊子の作成を進めている。
 - 3.2. 2018 年事業内容の確認と報告
 - SL 防災談話室第 7 回
 - 9/19 災害時のトイレ事情とその対策 富士見区民館 18:00～
 - 3.3. 提案事項
 - 「災害時のトイレどうする」講演会&シンポジウム企画について
 - ▶ 添付資料「H30/11/20 災害時トイレシンポジウム進捗状況」
 - 実行委員：葉木、岡部、佐藤 から経過報告
 - 3.4. 各地域からの報告
4. 次回運営委員会
 - 2018 年 10 月 5 日(金) 13:30～16:00
 - 10/5 は理事会開催 10:00～12:00

以上